

## 令和八年献詠歌募集要綱

靖國神社では、大正三年より御創立記念日（六月二十九日）に合わせ、全国から献詠の和歌を募集しております。

当日は御創立記念日祭の後に献詠披講式が斎行され、预选赛は古式に則り御神前へ披講されており、募集した全ての献詠歌も神前へお供えしております。

本年も左の要綱により募集致します。多くの献詠歌を御応募いただき度お願い申し上げます。尚、みたま祭（七月十三日・十六日）にお捧げする俳句の募集も致しておりますので、要綱を御希望の方はお申し出ください。

令和八年一月吉日

靖國神社社務所

一、兼 題 『地』

※「地」の字を和歌中に必ずお入れください。

一、選 者

三 枝 昂 之  
森 山 晴 美  
藤 原 龍 一 郎  
秋 山 佐 和 子

一、献詠要領

一人一首（厳守）。半紙を二つ折にして右半面に兼題と歌を、左半面に住所・氏名・年齢・電話番号を記入してください。（和歌と氏名には要ふりがな）  
但し未発表の歌に限ります。また漢字本来の読みに則して仮名をお振りください。

記入例（半紙 ※横長に用いる）

地 太郎上
○ ○ ○ ○ ○ ○
○ ○ ○ ○ ○ ○
○ ○ ○ ○ ○ ○
東京都千代田区 九段北三ー一ー やすくに 靖國太郎 年齢 電話番号

↑点線の部分で  
記入部が表に  
なる様山折り

### 【注意事項】

- \* 兼題の下に姓名の名のみ記載し、名の下に「上」と記入のこと。
- \* 「地」の文字を必ず入れて和歌を作ること。
- \* 五・七・五・七・七の定型に違つて和歌を作成のこと。
- \* 字足らず及び、和歌の定型音数の三十一音を大幅に超える字余りは不可。
- \* 辞書に掲載の無い『当て字』『造語』は使用不可。
- \* 読み違い等の可能性があるもので、和歌と氏名には必ずふりがなをふってください。
- \* 和歌は歴史的仮名遣いにてお書きください。（表記が異なっている場合は訂正いたします）

一、受 付 二月一日より

一、締 切 四月二十日（必着）※令和五年より締切日が変更になりました。

一、入 選 歌 预选赛を二十首、次点歌を二十首選びます。入選者は披講式に御案内の上

賞状と記念品を呈します。

一、披 講 式 六月二十九日 御創立記念日当日

一、献詠歌集 特別献詠歌、预选赛を始め、応募の献詠歌を全て載録した

「令和七年靖國神社献詠歌集」を、十一月中旬頃刊行の予定です。

歌集を御希望の方は初穂料金二、五〇〇円（郵送料を含む）をお振り込みください。  
同封の振替用紙を御利用願います。

一、送 付 先 靖國神社社務所 献詠係

〒一〇二・八二四六 東京都千代田区九段北三丁目一番一 号

電話番号（〇三ー三二六一ー八〇二八）

AC03

受付番号【事務局記載欄】

登録番号（宛名右下の7桁数字）							
氏名	ふりがな	郵便番号					
		〒					
		住所					
		電話番号（  ・  ・  ）					
年齢							
		（					

【事務局記載欄】

月

日 受付

[illegible]

この用紙は献詠歌集編纂の原稿になりますので楷書で御記入下さい。  
歌及び氏名には、ふりがなをお付け下さい。  
尚、ご神前にお供えする「歌」は従来通り半紙に墨書して下さい。  
※半紙と原稿用紙には、同一の和歌を記載願います。

# みたま祭献詠俳句募集要綱

靖國神社では、毎年御祭神のみたまを慰める夏祭り「みたま祭」を斎行しております。  
この祭典に合わせ、広く全国より献詠俳句を募集致します。

みたま祭では皆様から献詠いただいた俳句半紙を御本殿にお供えし、境内には大小三万を超える提灯や各界名士の揮毫による懸雪洞と共に、入選句を大雪洞に清書の上披露します。

何卒皆様お誘いあわせの上、多くの献詠句をご応募くださいますようお願い申し上げます。

令和八年一月吉日

靖 國 神 社 社 務 所

## 要 綱

一、兼題及び選者 新年 宮 坂 静 生

春季 井 上 康 明

夏季 稻 畑 廣 太 郎

秋季 片 山 由 美 子

冬季 小 島 健

一、俳句要領 ① 一人各季一句、通季五句とし、誰でも献句することが出来ます。

② 各季とも一般雑詠とし内容は限定しませんが、自作の未発表句に限り  
歳時記を確認し各季に添った季語を入れてください。  
(※旧暦及び歴史的仮名遣いを使用いただき、造語や当字は使用できません。)

③ 半紙を横二ツ折りし、右半面に各季別に半紙一枚に一句を墨書。左半面に  
それぞれ住所・氏名(雅号)を記入し、俳句と氏名(雅号)にはふりがなをつけ  
てください。従って半紙は合計五枚となります。

半紙は御本殿にお供えますので必ずお送りください。

### 【右半面】

「○季」には一枚ずつ其々「新年」「春季」「夏季」「秋季」  
「冬季」の各季を書き、俳句にふりがなを付ける。

### 【左半面】

郵便番号・住所・氏名・電話番号を記載。

氏名(あれば雅号)にはふりがなを付ける。

(大雪洞と俳句集は都道府県と氏名(雅号)のみ記載)

半紙は横長に使用し中央にて二つ折り

〒〇〇〇〇〇〇〇〇〇 東京都千代田区 九段北三一一一 やすくにたろう 靖國太郎 (雅号) 電話番号	○季 ふりがな ○ふりがな ○ふりがな ○ふりがな ○ふりがな
--	--

一、募集期間 令和八年二月一日より四月二十日まで(当日必着)

一、入 選 句 各季二〇句とし一〇〇句を選び、入選状・記念品を贈呈します。  
入選句は大雪洞に清書し、みたま祭(七月十三日〜十六日)中境内に掲揚致します。

一、献詠句集 特別献詠句を始め、応募の献詠句を全て載録した「靖國神社献詠俳句集」を十一月  
に刊行予定です。その際掲載句は歴史的仮名遣いに改めますのでご了承ください。

句集をご希望の方は初穂料二五〇〇円を「献詠句集代」と明記しお納めください。

郵便振替番号 東京〇〇一九〇一ー一四六七一〇 靖國神社社務所

(郵送先の住所、氏名、電話番号をお書添え願います)

一、献句送付先 〒一〇二一八二四六 東京都千代田区九段北三丁目一番一号

靖 國 神 社 社 務 所 献 句 係

※ この用紙は句集の原稿になりますので 楷書で記入してください。  
尚、神前に御供えする句は半紙に各季一句ずつ（計五枚）浄書し、同封してください。

登録番号・宛名右下の七桁数字【

受付番号	
住所	
〒	
都道府県	
新 年	(電話)
春 季	
夏 季	
秋 季	)
冬 季	(氏名)